

- | | | |
|-------------|-------------------|--------------------|
| 01. 生レバ | 08. もうおしまいだよさようなら | 19. ままごと |
| 02. dmrks | 09. 喋る | 20. ナイトオンザブラネット |
| 03. NE-TAXI | 10. のっぺらぼう | 21. さっきの話 |
| 04. キケンナアソビ | 11. さっきはごめんねありがとう | 22. おやすみ泣き声、さよなら歌姫 |
| 05. 最夜 | 12. HE IS MINE | 23. 天の声 |
| 06. インタビュー | 13. SHE IS FINE | |
| 07. 陽 | 14. 星にでも願ってろ | |
| | 15. 人と人と人と人 | |
| | 16. センチメンタルママ | |
| | 17. 愛は | |
| | 18. 手と手 | |



LIVE REPORT

3 / 30 sun. 広島文化学園HBGホール

クリープハイプ

最後の1音まで味わう“隙間”の美しさ
クリープハイプが紡ぐ物語の結末は？

長い長い行列。満員御礼。客電が落ちる。全国ツアー 2025【君は一人だけど 俺も一人だって】広島公演がスタート。いつも通りSEは無い。静かに登場するメンバーに送られる拍手。最後に悠々と舞台を歩く金髪の尾崎世界観 (Vo./Gt.)。満を持しての第一声は…「いただきます」。真っ赤なライティングの中、長谷川カオナシ (Ba.) の扇情的なベースラインが響き『生レバ』の激しいサウンドが広い空間を埋め尽くす。『dmrks』で一気に加速すると、小泉拓 (Dr.) のリズムに呼応する手拍子に乗せ、「広島に来られた時点で勝ちも確定してるんだけど、せっかくなら、今までよりもっと良いところに連れていきたい。もちろん、タクシーで」と尾崎が語り『NE-TAXI』へ。小川幸慈 (Gt.) が鮮やかな音色を響かせた『キケンナアソビ』から、静かな『最夜』への流れはエロティシズムが匂い立つ。ミラーボールの光の中『インタビュー』で、咽び泣く小川のギター。ホール会場だけど、映像や特別な演出効果ではなく、“音”を中心に据えるライブスタイルが深い。尾崎が「楽しい」と呟いた後、「裏の意味はないから、素直に受け取ってください」と笑う。合間のMCは、まるでラジオを聴いているかのよう。トークの流れで、誰にも言えないネガティブな感情を溜めている“心の地下室”を「今日埋めてやるよ！」と

宣言すると、大歓声を送られる。軽快なリズムから『陽』、オリエンタルな『もうおしまいだよさようなら』、アコギで優しく奏でられた『喋る』、長谷川が歌うフォーキーな『のっぺらぼう』。クラブの渦が巻き起こった『さっきはごめんねありがとう』までノンストップ。次々と表情を変えるサウンドアプローチに圧倒される。楽曲が終わる最後の1音まで耳を澄ます美しい静寂から、クリープハイプとオーディエンスの共犯関係を強く感じる。小川のエピソードなどを交えたMCで、空気を和らげ後半戦へ。

あのフレーズの大合唱を巻き起こした『HE IS MINE』から『SHE IS FINE』という初期曲の連打。アルバム『こんなところに居たのかやっと思いつけたよ』をリリースしての全国ツアーだが、新旧織り交ぜた選曲なのもクリープハイプ流。むしろ、渋めの名曲も混ぜ込みながら、この日だけの物語を紡いでいく。再び長谷川がメインボーカルの『星にでも願ってろ』をアッパーに届けると『人と人と人と人』『センチメンタルママ』と熱量を高めてロックモードへ。尾崎のハイテンなシャウトは、切なく胸をざわつかせる。『愛は』でポップに繋がると、『手と手』でシンガロングを生み、最新アルバムのオープニング曲『ままごと』まで歌いきると、張り詰める静寂。尾崎のアカペラで始まった『ナ

イトオンザブラネット』。タイトなグルーヴに積み上がっていく言葉が、自分の中の記憶や体験とリンクし、地下室にしまいこんだ傷を優しく刺激する。この“痛み”もまたクリープハイプというバンドの魅力だろう。『さっきの話』でゆっくり癒した後、銀テープが吹き上がり『おやすみ泣き声、さよなら歌姫』で、クライマックスへ。

全身全霊の演奏に心奪われる。「さっきはふざけて、心の地下室を埋めてやる！なんて言っただけ、やっぱりやめます。隙間がなくなったら、音だって響かなくなってしまう」。満たされない歪な隙間を持つ人にこそ、クリープハイプの音楽は響くはずだと尾崎は語る。そんな想いを共有出来る空間の愛おしさを噛み締めながら聞く『天の声』は、一人一人の心の奥底にまで届いたはずだ。深く深くお辞儀をして舞台を去る4人の背中に確信する。クリープハイプとオーディエンスの物語は、まだまだ終わりそうもないと。

